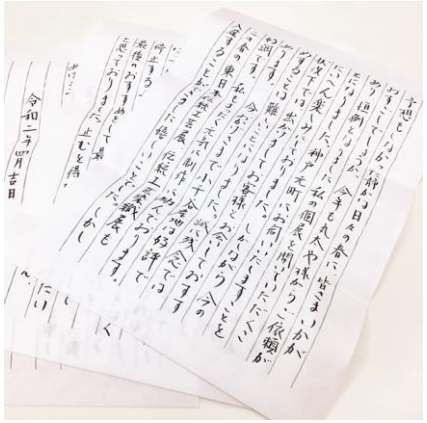
樋口 隆司さんより ご挨拶

予想もしなかった静かな日々の春に、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年も丸太や様からご依頼があり、恒例となりました私の個展を開いていただくことになりました。神戸元町にお伺いいたしますことをたいへん楽しみにしておりました。しかしながら今の状況下では、出かけましてお客様とお会いしておすすめすることは難しいことになりました。誠に残念ではあります。

今、おかげさまで小千谷産地は好評で好調です。私もまったく元気に制作に励んでおります。この春の、東日本伝統工芸展、伝統工芸染織展も入選することができました。嬉しいことでした。しかし私の制作の仕事を手伝って、たずさわっております人たちが超高齢化してしまいました。そして、このウイルス関連で全体の仕事量が極端に少なくなりました。そのために、この機会にこの仕事を止めてしまう人も少なくありません。私自身もいつかは制作を止めて会社の整理をしなければならないと考えていました。まったく作ることができなくなってからでは難しくなります。この秋には制作を停止する予定です。皆さまとお会いしまして、最後のおすすめをして、最後に御礼を申し上げたいと思っておりました。止むを得ないこととはいえ、かなわぬこととなってしまいましたことをお詫び申し上げます。

まだ小千谷の町の中で、町のためにいろいろ実行したいことがあります。町の人と一緒に元気よく生活していきたいと考えております。今まで永きに渡りご愛顧を賜りましたこと、心から厚く御礼を申し上げます。

ありがとうございました。



令和二年四月吉日

日本工芸会正会員

樋口隆司